

令和 8 年度第 1 回静岡市立小学校及び中学校通学区域審議会の書面開催における意見一覧

No.	意見内容	事務局回答
1	通学区域（学区）について、学校の適正規模の調整（過小規模化の解消のため）に取り組む場合の手順を知りたい。	本市では、小中学校において子どもたち同士で共に成長していける教育環境として一定の規模（児童生徒数）を確保するため、「静岡市立小・中学校の適正規模・適正配置方針」に基づき、取組を行っています。 小規模化が進む学校については、一定の規模を確保するために学校再編に取り組めますが、具体的な方策（統合、通学区域の見直しなど）は保護者や地域と協議を行い、要望等を踏まえ、決定し進めていきます。
2	通学区域の弾力的運用（指定学校の変更）の、学校変更が認められる基準に「教育的配慮」があることで、生徒の不登校を解消できたケースがあり、ありがたかった。	ご意見ありがとうございます。
3	静岡市は小中一貫コミュニティスクールを推進している。通常級の児童生徒は、居住区の中学校に進学できるが、特別支援学級の児童は学区外の中学校に進学しなければならない地区があり、保護者、児童の負担が大きいと感じる。（足久保小学区に居住の自情級児童は、学区の小・中学校には自情級がないため、小学校は安倍口小へバス通学、中学校は籠上中へ進学しなければならない）	特別支援学級の児童生徒数は年々増加しており、これに伴い、特別支援学級を新設しています。なお、特別支援学級の新設にあたっては、該当児童・生徒の保護者からの設置要望を受けた学校と特別支援教育センターが十分な情報共有を行い、教育局の関係各課と協議した上で決定しています。 引き続き、保護者の要望や各学校からの情報を踏まえ、児童生徒の適切な学びの場について検討していきます。
4	学びの多様化学校における通学状況の実態について教えていただけたらありがたい。	静岡市では、学びの多様化の一手段として、不登校状態または不登校傾向の子どもたちが無理なく学習できるよう、柔軟で特色ある教育課程を編成した学びの多様化学校を、令和 8 年 4 月より開校しました。 詳細につきましては、別紙「2026年 7 月16日（木）教育長定例記者会見 資料 1」をご覧ください。 ＜基本情報＞ 学校名：静岡市立末広中学校分教室（学びの多様化学校） 所在地：葵区駒形通二丁目 4 番47号（静岡市立新通小学校東校舎 3 ・ 4 階） 生徒人数：34名（令和 8 年 4 月時点）※各学年の定員は16名程度 ＜通学状況について＞ 学びの多様化学校は市内全域を通学区域としており、通学が遠距離（4 km以上）となる一部の生徒においては、公共交通機関を利用して通学しています。なお、これら生徒の通学にあたり、当該生徒の保護者に定期券購入費用を補助しています。
5	資料からこれまでの丁寧な審議の流れを知ることができました、ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。
6	今後 6 年で予想される児童生徒数の減少と、特別支援学校所属の児童生徒の増加については、それぞれの実態に寄り添った通学区となっていくよう、きめ細やかな審議が求められていくの难道うかと感じました。	ご意見ありがとうございます。

学びの多様化学校「末広中学校分教室」

現中学2年生の後期からの受け入れ及び開校後の状況について

1 概要

静岡県では、令和8年4月、県内初となる公立の学びの多様化学校「静岡市立末広中学校分教室」（以下、「末広中学校分教室という。」）を開校しました。

分教室では、34人の生徒が学校生活を送っています。このうち、2年生の在籍生徒は7人であるため、後期日程（10月13日（火））からの転入生を受入れることとしました。

6月3日（水）に全市立中学校向けに募集に関するスケジュール等を通知したほか、静岡市ホームページへの掲載や教頭研修会等を通して周知を図りました。転入学申請の受付は、7月9日（木）より始まっています。

本日は、現中学2年生の転入生の募集の概要と、開校後、3か月が経過し、夏休みを迎えようとしている分教室の近況を発表します。

（基本情報）

学校名：静岡市立末広中学校分教室（学びの多様化学校）

場 所：静岡市葵区駒形通二丁目4-47（新通小学校内東校舎3階、4階）

生徒数：34名（各学年1クラス）

学 年	生徒数	うち男子	うち女子
1年	15人	4人	11人
2年	7人	2人	5人
3年	12人	3人	9人
合計	34人	9人	25人

※各学年の定員は16名程度

2 現中学2年生の令和8年度後期からの受け入れ(募集)について

現在、中学2年生の生徒のみ、末広中学校分教室への後期（令和8年10月13日（火））からの転入学生を募集しています。

(1)募集のスケジュール等

- ① 募集人員 10名程度
- ② 転 入 日 令和8年10月13日（火）
- ③ 転入学までの流れ
 - i 個別学校説明 令和8年 7月24日（金）まで
 - ii 施設見学会 令和8年 7月23日（木）14:30～16:30
 - iii 転入学申請受付締め切り
令和8年 7月27日（月）17:00※必着

（次ページあり）

iv 生徒・保護者面談 令和8年 8月 6日(木)(予定)

※ i、iiについては、静岡市ホームページ「学びの多様化学校」内の申込みフォームからの申し込みが必要です。詳細は、ホームページ掲載の転入学案内をご確認ください。

その後、教育委員会内に設置する入学者検討委員会において、8月末までに、入学予定者に向け通知する予定

(2) 中学2年生のみ募集する理由

末広中学校分教室では、少人数での落ち着いた環境の保障、および施設規模の面から、各学年の定員を 16 名程度としています。現在の2年生の在籍生徒は7名で受入れの余地があることから、2年生の募集を行うことにしました。

1年生については、既に想定する人数となっており、3年生については、卒業までの期間を踏まえ、募集はしないこととしました。

3 開校後の状況

(1) 出席状況（6月末時点）

6月末時点において、在籍生徒 34 人の出席率は、前在籍校在籍時の 28.0%から、分教室では 71.9%に向上しています。出席率は次のとおりです。

月	出席率 (リモート参加含む)
4月	81.2%
5月	70.6%
6月	67.4%
TOTAL	71.9%

(参考) 在校生の令和7年度の状況

・出席率平均 28.0%

・出席日数が登校すべき日数の10%以下の生徒 11人

開校してまだ間もない段階ですので、この数字だけをもって成果を判断することはできません。また、出席率を上げることだけが、この学校の目的でもありません。

学校に行ってみようと思えたこと。
人と関わってみようと思えたこと。
学んでみようと思えたこと。

この数字の背景にある子どもたちの一つ一つの変化が、子どもたちにとっては大きな一歩です。

教育委員会では、数字に一喜一憂することなく、一人一人の姿を丁寧に見ながら、また、教員や学校に寄り添いながら、まずは、末広中学校分教室の文化となる学校活動を支援していきたいと考えています。

(次ページあり)

（２）学校生活の様子

末広中学校分教室では、中学校の学習内容を基本としながら、生徒一人ひとりの状況に応じて、学習方法や授業形態を工夫しています。そのため、授業は、教科担任が行いますが、可能な限り、教科担任以外の教員も参加し、生徒達をサポートしています。

昼食については、選択制となっており、給食の生徒と弁当持参の生徒がいます。誰と食べるか、どこで食べるかも生徒自身が自分で決めています。

自分の「好き」や「興味・関心」をもとに自由に活動する「カジュアルタイム」は、ギターなどの楽器演奏や卓球などを楽しむ姿が見られます。

総合的な学習の時間を活用して、生徒自身が学校づくりを考える「学校づくりプロジェクト」の取組も実施しています。「学校づくりプロジェクト」では、生徒たちが「分教室でやってみたいこと」を考え、5月に各学年ごと校長先生へプレゼンテーションを行いました。ボードゲーム大会、熱帯魚の飼育、文化祭、音楽フェス、修学旅行のコースなど、生徒達の思いをもとにした提案が出されています。



【総合的な学習の時間】
学校づくりプロジェクトの様子
（「分教室でやってみたいこと」
を校長先生にプレゼン）

また、末広中学校分教室では、毎日15分のサークルトークと週に1回の授業として45分の1コマを、静岡市独自の新教科「リフレクション」の時間にあて、生徒達の非認知能力の向上を目指しています。

サークルトークでは、「最近ちょっと困ったこと」や「誰かのすごいところ」などのテーマを設定し、それぞれが発言します。対話を通して自分の考えや気持ちを整理し、それを伝える力を育むとともに、仲間の考えに触れることで他者への理解を深め、改めて自分自身を見つめ直すことを繰り返し実践しています。

週に一度の45分の授業では、毎回、対話を基本としたワークに挑戦しています。生徒達も少しずつ発言ができるようになってきました。

教員にとっても新しい取組ですが、試行錯誤しながら、さまざまなアプローチで対話を引き出してくれています。

（次ページあり）

4 生徒・保護者の声

（１）生徒の声

5月29日に実施したアンケートでは、生徒から次のような声が寄せられました。

Q. 学校が楽しいと感じますか。



学校が楽しいと感じる理由としては、友達やスタッフと話せること、学校に行くと友達がいること、授業が分かりやすいこと、先生が話をよく話を聞いてくれること、などが挙げられています。その他、次のような回答がありました。

- ・ 人生で初めて勉強が楽しいと思えた。
- ・ 自分や現実に向き合っている。嫌なことから逃げなくなった。
- ・ スタッフが進路についての話をじっくり聞いてくれて嬉しかった。
- ・ 自力で登校できた。
- ・ 学校生活で楽しいと思う時が増えた。
- ・ 勉強が少し好きになった。
- ・ 自分で考えるようになった。
- ・ 人前で話せた。
- ・ 友達とのコミュニケーションが増えた。

一方で、学校生活の中で不安を感じる場面として、先のことが怖い、気分が落ち込むことがある、友達の話についていけないことがある、これからも頑張れるか心配といった声もありました。こうした声も受け止めながら、一人ひとりの状況に応じた支援を続けています。

（２）保護者の声

末広中学校分教室では、毎月、教員と保護者が面談する機会を設定しています。（隔月の保護者面談、その他の月は希望者面談）子ども達を支援するにあたり、保護者の皆様ともコミュニケーションを図りながら、対応しています。

保護者からは、「子どもが自分からスタッフに話しかけるのを初めてみた」「子どもから授業が面白かったと初めて聞いた」「去年のことを考えると自分一人でバス通学していること自体が奇跡」など、子ども達の成長に驚きの声を伝えていただいています。

静岡市 HP
静岡市の不登校支援



担当：学校教育課(054-354-2522)